

製品名: GRIN1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11765**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	102kDa

抗原情報

遺伝子名	GPRIN1
別名	GPRIN1; KIAA1893; G protein-regulated inducer of neurite outgrowth 1; GRIN1
遺伝子 ID	114787.0
SwissProt ID	Q7Z2K8
免疫原	抗血清はヒト GPRIN1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

背景

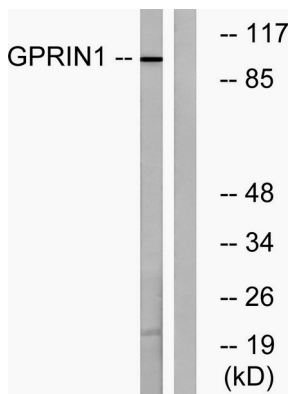
機能: 神経突起伸長に関与している可能性があります。PTM: Cys-999 および/または Cys-1000 のパルミトイル化は、膜標的化に必要です。細胞内局在: 成長円錐に多く含まれています。サブユニット: GNAI1、GNAO1、および GNAZ の活性型と相互作用します。組

組織特異性: 中枢神経系で広く発現しており、脊髄で最も多く発現しています。機能: 神経突起伸展に関与している可能性があります。PTM: Cys-999 および/または Cys-1000 のパルミトイル化は、膜標的化に必要です。細胞内局在: 成長円錐に多く含まれています。サブユニット: GNAI1、GNAO1、および GNAZ の活性型と相互作用します。組織特異性: 中枢神経系で広く発現しており、脊髄で最も多く発現しています。

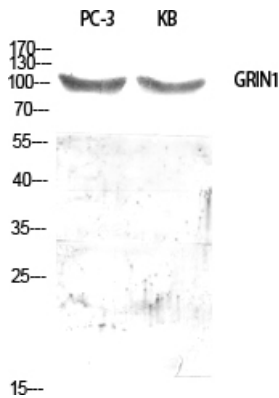
研究分野

-

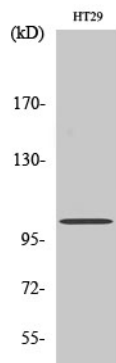
画像データ



GPRIN1 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GRIN1 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット解析した。



GRIN1 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた HT29 細胞のウェスタンブロット解析